短 報

腎血管筋脂肪腫の穿刺細胞像

名鉄病院中央臨床検査部¹⁾, 名古屋掖済会病院中検病理²⁾眞田照一郎¹⁾ 佐竹 立成²⁾

I. はじめに

近年の画像診断法の発達により腎に発生する早期の腫瘍性病変が発見されるようになり、組織診断決定のために行われる、腎穿刺細胞標本をみる機会も増加するものと思われる。今回われわれは、エコー下腎穿刺吸引細胞診にて血管筋脂肪腫 (Angiomyolipoma. 以下 AML) 2 症例を経験したので、その細胞像^{1,3,4)}について報告する。

II. 症 例

1. 症例 1

患者: 52 歳, 女性

既往歴: 38 歳で子宮筋腫, 47 歳で乳癌のいずれも摘出術をうけた

現病歴: 当院人間ドックにて左腎の異常を指摘され平成 2 年 8 月泌尿器科受診, 超音波腹部 CT にて左腎腫瘍 (1.5×2.0 cm) が疑われた。9 月エコー下穿刺吸引細胞診を行い, 10 月左腎摘出術が施行された。

細胞像: Papanicolaou (Pap.) 染色標本で観察した。上皮様結合を示す細胞集塊がみられた。これらの細胞は裸核状で核は円から類円形, 大小不同があり, 核内空胞や核小体がみられ核クロマチンは細顆粒状で濃染

していた (写真 1 a)。また, シート状あるいは孤在性で N/C 比が比較的小さく, 細胞質の淡明な細胞もみられ (写真 1 b), 腎腺癌が疑われた。なお, 後日の再検鏡で血管壁と思われる紡錘形細胞 (写真 1 c) が認められた。

組織像: 成熟脂肪, 血管, および多方形から類円形の筋原性と考えられる細胞集団が混在してみられ, AML と診断した (写真 2)。免疫抗体法で多方形から類円形細胞の一部はデスミン陽性に染色された。

2. 症例 2

患者: 37 歳, 女性

既往歴: 35 歳で胃癌摘出術をうけた

現病歴: 胃癌術後 follow up 中に右腎の腫瘤を指摘され平成 2 年 8 月泌尿器科受診, 超音波, 腹部 CT にて右腎腫瘍 (1×1 cm) が疑われ, 10 月エコー下穿刺吸引細胞診を行った。11 月右腎腫瘍部の切除術が施行された。

細胞像: 細胞質が融解状で核の所見が症例 1 と類似した細胞がごく少数認められた (写真 3 a)。また, 脂肪細胞集塊も散見され (写真 3 b) 症例 1 の経験をふまえて AML を最も疑った。

写真 1 a: 上皮様の結合を示す細胞集塊, b: 細胞質の淡明な細胞, c: 血管壁の細胞 (Pap. 染色, a ×200, b ×1000, c ×200)

Aspiration biopsy cytology of renal angiomyolipoma
Shouchirou SANADA¹⁾ C.T., I.A.C., Tatsunari SATAKE²⁾
M.D.

¹⁾Central Clinical Laboratory Meitetsu Hospital

²⁾Department of Clinical Pathology Nagoya Ekisaikai Hospital

論文別刷請求先 ☎ 451 名古屋市西区松前町 3 の 45 名鉄病院中央臨床検査部 眞田照一郎

平成 3 年 5 月 10 日受付

平成 3 年 10 月 18 日受理

写真 2 症例 1 の組織像 (H-E 染色, ×200)

組織像：症例 1 よりも血管が乏しかったが、ほかは同様であり AML と診断した。多方形から類円形細胞の一部はデスミン陽性を示した。

III. 考 察

腎に発生する AML は、CT, MRI などの画像診断法でほかの腫瘍との鑑別はかなり容易になったが、脂肪成分の少ない AML の CT 診断は困難な場合があるといわれている²⁾。とりわけ腎腺癌との鑑別は治療方法にかかわるので大変重要である³⁾。今回経験した平滑筋由来の細胞は上皮様の所見を示し、核異型が比較的強い上にいわゆる淡明細胞癌に類似した細胞もみられるので、症例 1 では、腎腺癌が疑われた。ほかの報告例では、この点にふれた記載はみられない^{1,3)}。

本症例では、振り返って検鏡しても上皮様細胞のみで AML と腎腺癌を鑑別することは困難のように思われた、したがって脂肪細胞や血管壁の細胞を丹念にさがすことが大切で、その存在を認めた場合は AML と

写真 3 a：少数の裸核状細胞，b：脂肪細胞 (Pap. 染色，a ×1000, b ×400)

考えてよいと思われる。なお穿刺方法によっては腎周囲脂肪や血管の混入もありうるので採取方法の検討も必要であるが、今回の 2 症例では混入は考えられない方法で採取されている。

文 献

- 1) Glenthøj, A. and Partoft, S.: Ultrasound guide percutaneous aspiration of renal angiomyolipoma report of two cases diagnosed by cytology, *Acta. Cytologica*, 28: 265~268, 1984.
- 2) 清滝修二：腎部分切除術を行った巨大な腎血管筋脂肪腫，*臨泌*，44：453~455, 1990.
- 3) Nguyen, GK.: Aspiration biopsy cytology of renal angiomyolipoma, *Acta. Cytologica*, 28: 261~264, 1984.
- 4) 横山繁生・他：肝血管筋脂肪腫 (Hepatic Angiomyolipoma) の 2 例，*日臨細胞誌*，28：963~969, 1989.